6　芸術（音楽）

学校番号	１０１３

令和２年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の音楽２」　（教育芸術社）						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、取り組み状況で評価します。
・音楽経験はそれぞれだと思いますが、その中でお互いが刺激しあい、表現の可能性をひろげていってほしいと思っています。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

簡単なアンサンブル教材を使用し、小さなステップを設定した上で、達成感を持ちながら授業に参加できることをめざす。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌曲親しみ、色々な歌い方を試みよう～独唱曲を中心に～	【歌唱】 糸 Tomorrow	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:曲の構成などを理解し、その曲の雰囲気を感じ取り主体的に表現を工夫している c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターを楽しもう	【器楽】 スタンドバイミーなど	○	○	○		a:自ら進んで楽器に取り組もうとしている。 b:楽器の特色を知り、そのよさを生かして主体的に表現している。 c:音量やアーティキュレーションなどに留意しながら創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	曲の背景や物語を理解してクラシック音楽を味わおう	【鑑賞】 交響曲第9番(ベートーベン)など	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:作曲者や年代、ジャンルに違いによる表現の違いを理解しようとしている。	観察 ワークシート
2学期	合唱曲でアンサンブルを楽しもう	【歌唱】 見上げてごらん夜の星をなど	○	○	○		a:合唱の楽しさを体得しようとしている。互いに協調して音楽をつくりあげようとしている b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現を工夫している。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズム作品を作ろう	【創作】 ボディーパーカッションに挑戦しよう	○	○	○		a:創作の楽しさを知り、積極的に取り組んでいる。 b:互いのリズムを聴き合い、各パートの役割を意識しながら演奏を工夫している。 c:演奏効果や表現を考えて、それに適したリズムのパターンを用いて創作できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	沖縄の音楽を楽しもう	【器楽】 花 島人の宝など （三線の自作教材）	○	○	○		a:三線の音色や奏法に興味をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:三線の音色や奏法・歌唱の特徴をいかした技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	合唱曲でアンサンブルをしよう2	【歌唱】 任意の曲	○	○	○		a：合唱の楽しさを体得しようとしている。互いに協調して音楽をつくりあげようとしている b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現を工夫している。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	合奏を楽しもう	【器楽】 クラス（またはグループ）でのアンサンブル	○	○	○		a:ギター・リコーダー・三線などの中から自由に選択し、自ら進んで楽器に取り組もうとしている。互いに協力して音楽を作り上げようとしている。 b:楽器の特色を知り、そのよさを生かして主体的に表現している。 c:それぞれが使用する楽器の音量や、アーティキュレーションなどに留意しながら調和のとれたアンサンブルをしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	知的財産権	著作権について	○			○	a:音楽や音楽文化に興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。 d:楽曲や演奏の価値を考え、聴いている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。